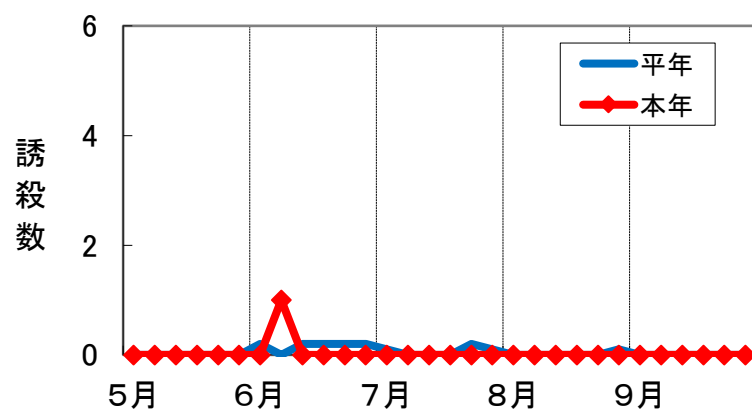


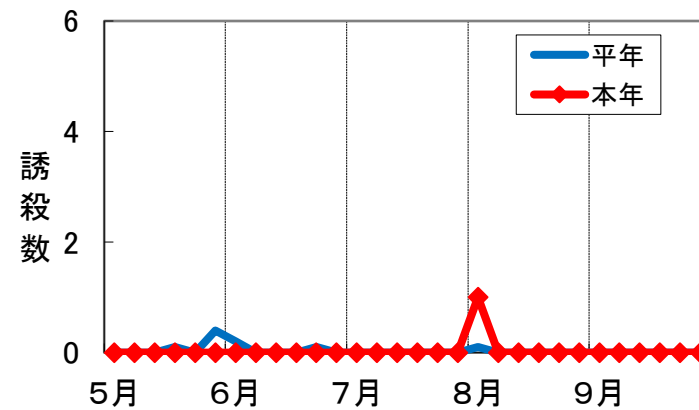
フェロモントラップによるニカメイガ雄成虫の誘殺消長 【令和5年(2023年)】

- ・須坂市のフェロモントラップには、6月第2半旬に1頭、初誘殺されました。その後は9月第6半旬まで誘殺されませんでした。
- ・小布施町のフェロモントラップには、8月第1半旬に1頭、初誘殺されました。その後は9月第6半旬まで誘殺されませんでした。

【須坂市小河原における誘殺状況】



【小布施町における誘殺状況】



※須坂市小河原(農業試験場調査)、小布施町(病害虫防除所調査)において5月～9月まで半旬ごと誘殺数をカウント。フェロモントラップの種類はファネル式トラップ使用。

【参考】

1 発生生態

本県におけるニカメイガの発生は、年2回の地域と年1回の地域があります。成虫の発生時期は地域によって異なります。北信の常発地帯では、越冬世代は平年では5月中旬頃から発生し、6月の上旬に発生の最盛期となります。

上のグラフは雌の性フェロモンに誘引された雄の成虫数です。

2 防除対策

- (1) 多発地域では稈の太い品種の栽培をさける。
- (2) ニカメイガに効果の高い苗箱施薬を使用する。
- (3) 第1世代幼虫の防除は6月下旬頃、第2世代幼虫の防除は8月上旬頃です。